

【法務研究科・法務専攻】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
法務研究科・法務専攻	M	DP1：豊かな人間性や感受性、幅広い教養、社会や人間関係に対する洞察力	基礎法学・隣接科目（人間の尊厳科目）（選択必修科目および選択科目）に関する教育方法・学修成果に関する情報等の直接指標により、把握・可視化・分析する。
		DP2：人権感覚、先端的法分野の知見や国際的視野	展開・先端科目（選択必修科目および選択科目）に関する教育方法・学修成果に関する情報等の直接指標により、把握・可視化・分析する。
		DP3：高度な法的専門知識	法律基本科目（必修科目、選択必修科目および選択科目）に関する教育方法・学修成果に関する情報等の直接指標により、把握・可視化・分析する。
		DP4：法律実務における問題解決に寄与するために必要な具体的妥当性を導く柔軟な思考力	法律実務基礎科目（必修科目および選択科目）に関する教育方法・学修成果に関する情報等の直接指標により、把握・可視化・分析する。
		DP5：説得・交渉等の能力・資質	法律基本科目のうち応用科目（必修科目及び選択科目）に関する教育方法・学修成果に関する情報等の直接指標により、把握・可視化・分析する。

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
修得単位数・GPA	毎学期	修業年限内の の全年次生	個々の大学院生の学修状況を専攻において共有し、進級・修了判定に活用するとともに、学生指導に活用。	学位プログラムレベル／授業科目レベル
授業評価アンケート	毎学期	修業年限内の の全年次生	専攻で実施し、アンケート結果を研究科委員会で承認し、教育方法、研究環境の改善に活用。内部質保証委員会からのメタ評価と改善提案も同様に活用。	学位プログラムレベル／授業科目レベル
研究倫理教育プログラム受講実績	入学時（以降、3年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院委員会および内部質保証委員会で報告して、研究公正の理解に活用。	学位プログラムレベル／授業科目レベル
修了者の司法試験の合否等、進路状況、退学者状況	修了時	修了年次生	研究科として就職先、進路の把握を行い、カリキュラムおよび研究環境についての自己点検・評価・改善に活用。	学位プログラムレベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施